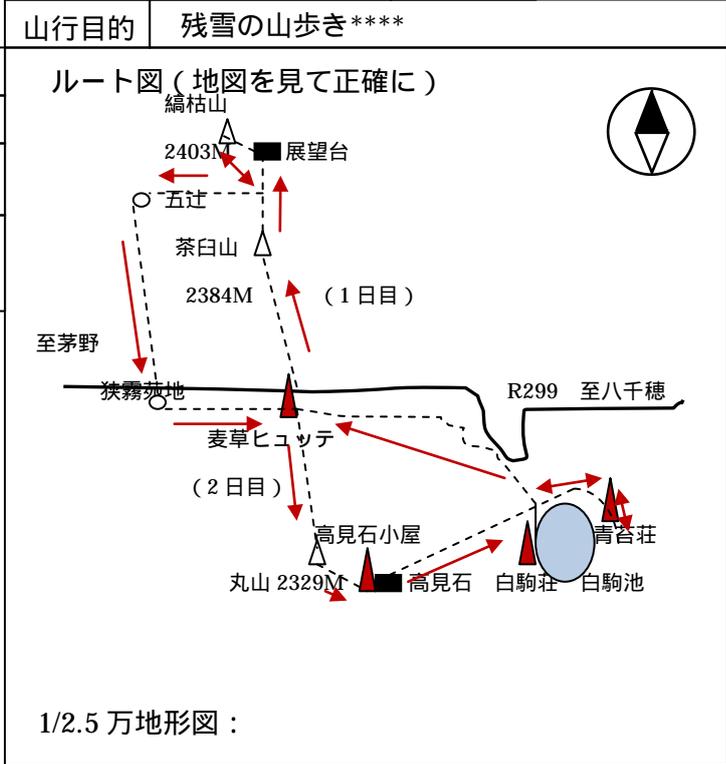


5 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	佐溝	参加メンバー	塚本・三矢・不破 渡辺(勝)山田(悦) リーダー 油井・青山・佐溝
		報告日	10-5-12		
山域	北八ツ****	山行日	2010/5/ 8日~9日		
山名	縞枯山等****				
山行目的	残雪の山歩き****		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



8日9日共 天候:晴れ・微風
コースタイム
8日:刈谷デンソ-本社P発6:00 麦草ヒュッテ着 9:50。
ヒュッテ発10:30~茶臼山11:45-12:11~縞枯山展望台12:41-13:08~縞枯山13:30~茶臼山鞍部~五辻14:32-14:40~狭霧苑地15:21~麦草ヒュッテ16:07。
9日:ヒュッテ発6:30~丸山7:30-7:40~高見石8:08-8:22~青苔荘の東9:19-9:30~白駒荘9:50-10:15~ヒュッテ着11:10。
ヒュッテ発11:34~縄文の湯~刈谷デンソ-本社P着17:00。

山行報告 雨にはまった偵察日とは違って変わって快晴日、8名は2台の車で予定通り麦草ヒュッテ着、周囲は雪が消えている、スタッフの徳留さんが笑顔で迎えてくれた。身支度後茶臼山に向かいスタート、登山道には残雪がしっかり有り注意していても緩んだ雪を踏み抜くので気が抜けない、中小場1本、一気に茶臼山の急登をこなし木立の中の山頂へ、直ぐ先の展望台で小休止・南にハツ・北に蓼科山その手前に縞枯山、西方に白い甲斐駒が望める、茶臼からひと下りし登り返すと岩塊の縞枯山展望台、足元に雨池が一遠くに浅間山が霞んで望めここは佐久方面の展望が良い、枯木の間を通り山頂へ。帰路は変化を持たせ茶臼の鞍部から五辻へ下る、コースが分かりにくいかもとスタッフから聞いていたが印もあり問題ない、五辻先の東屋で一息入れる、千葉からの先客男性2人が休んでいた、真直ぐ進みR299を横切り狭霧苑地~麦草ヒュッテへ帰着。五辻からのルートはスノーハイコースになっておりそのシーズンに歩いてみたいと思った。ナベさんがオーナーからシラビソとトウヒの見分け方を教わり早速メンバーに指導してくれた。翌9日今日も快晴、6時半出発、水溜りの氷や霜柱をストックで壊しながら丸山に向う、早朝で雪面が固く凍りつきアイゼン無しの方はやや登りにくそうだがそこは技術と経験でカバー、標高差210Mを1ピッチで頂上へ、朝イチだが皆体調が良い様子、丸山からは南に申山その右肩に天狗が望める、東方の出が御座山(2112M)と塚さんから解説あり、ひと下りして高見石小屋へ、空身ですぐ裏手の高見石に登る、360度の超展望スポット、微風に当たりながらあれこれと山座同定、存分に眺望を堪能し白駒池に下る、池は2W前には氷雪で覆われていたが今は静かな水面になっている。池の周回ウォーク中に氷の付着した木道でYY氏が足を滑らせしゃがみ込んだ・ヒヤリ・としたがセーフ。傾きのある周回木道はヤバイと判断

しここで引き返しヒュッテに戻る事とした。帰路、縄文の湯で汗を流し、タンポポの咲く野道から八ヶ岳連峰のパノラマをしばし仰ぎハツに別れを告げた。計画通り17時刈谷帰着。

リーダー所見 天候にも恵まれ計画通り残雪の山歩きと山々の眺望を楽しめたので良かったと思う・ハツとメンバーに感謝!。標高2100M以上の樹林帯の登山道は80%は残雪、氷った箇所もあり軽アイゼン着用がより安心、午後は緩んだ雪の踏み抜きもしばしばあり、雪が消えつつある不安定なこの時期よりもう少し早い時期(偵察は半月前だった)の方が歩き易いなど感じた。写真:下山後スタッフのT嬢を囲み記念撮影 (佐溝記)

縞枯山の雪の立ちかた 冬の厳しき風雪偲ぶ・・・(油井作)



確認(リーダー) 佐 5-19 溝
作成(報告者) 佐 5-19 溝